

課題名	カンキツ害虫の年間マシン油使用体系による防除							
成果の要約	<p>福原オレンジ・川野夏橙・ポンカンにおいて粘度85～90秒タイプのマシン油乳剤(98%) 200倍の5月中旬と7月中旬の2回、および粘度70秒タイプのマシン油乳剤(97%) 200倍の8月下旬～9月上旬の計3回の散布体系をとれば、カイガラムシ類及びミカンハダニの年間防除が可能である。</p>							
成績	<p>ミカンハダニの発生経過と被害程度(1981年)</p> <p>80葉上の雌成虫数を示す</p>							
	区	6月15日	7月14日	8月28日	10月13日	12月16日	被害程度 (12月16日)	
	慣行区	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	2.6	
	改善1区	2.0	0.0	2.2	183.4	2.8	53.1	
	改善2区	2.2	3.5	24.4	880.4	1.8	83.5	
	改善3区	3.2	15.8	32.4	34.4	0.0	37.1	
	改善4区	0.0	2.4	15.6	153.4	1.2	29.7	
概要	<p>各区のミカンハダニの発生経過(1982年)</p> <p>80葉上の雌成虫数を示す</p>							
	区	月日 5・24	6・8	7・19	9・3	10・21	11・16	春葉の被害程度 1983年1月13日
	慣行区	0	0	0	0	0	1.8	-
	改善1区	1.4	1.0	9.4	104.6	12.6	43.0	-
	改善2区	1.0	0.8	1.0	241.2	338.2	77.6	±～+
	改善3区	0	0	0	91.8	49.6	36.4	1部に±
	改善4区	0.6	0	1.6	19.6	12.2	45.2	1部に±
要								

成 績 概 要	(注)
	慣行区 5月下旬モレスタン1000倍、6月中旬スピンドロン200倍、7月下旬ダンカット1000倍 9月上旬トーラック1000倍
	改善1区 5月下旬スピンドロン200倍、7月中旬スピンドロン200倍、9月上旬ラヒサンスプレー200倍
	改善2区 // 75秒オイル200倍、 // 75秒オイル200倍、 // 75秒オイル200倍
	改善3区 // スピンドロン200倍、 // スピンドロン200倍、 // オサダン3000倍
改善4区 // 75秒オイル200倍、 // 75秒オイル200倍、 // オサダン3000倍	
	(長崎果試)
普 及 上 の 留 意 点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 十分な防除効果を得るためには、樹内の75%以上の葉にマシン油を付着させねばならない。</li> <li>2. 8月下旬～9月上旬には薬害(果実品質低下)の心配があるので、粘度75秒以上のマシン油は使用できない。</li> <li>3. ミカンハダニの秋季における発生量が非常に多い場合は、この体系のみでは十分効果が上がらないことがある。  9月にオサダン水和剤3000倍を散布すると有効である。</li> </ol>